

宮城山岳通信 第23号

目次

巻頭言	支部長 2 頁
定例役員会報告	事務局 3~4 頁
宮城支部山行報告	
○厳冬期山行（三方倉山）（共益事業）	佐藤昭次郎 4 頁
支部以外の関係行事参加報告	
○令和 2 年度支部連絡会議参加報告	支部長 4 頁
今後の行事予定	
○2021 年度第 1 四半期宮城支部行事予定	事務局 5 頁
編集後記	会報・編集出版委員長 6
頁	

巻 頭 言

4 年間で振り返って

支部長 富塚和衛

私が宮城支部長をお引き受けしたのは、2017年度の4月の総会からである。10代目の支部長として、以降、2021年の4月の総会までの2期4年間務めさせて頂いた。無論、お引き受けするに当たっては、山岳文化、登山技術等に見識のある諸先輩が多くいる中、「山」に関する知識も技量も浅く、登山の経験も未熟な輩が、果たして伝統ある宮城支部の支部長が務まるのか不安な気持ちがあったのも事実であるが、その4年間で振り返って見たい。

宮城支部が実施している事業は大きく、定例役員会、月例山行、支部報発行、親睦事業の4つのカテゴリーに分けられる。これらの事業は各種委員会の委員長及び事業担当幹事を中心に実施される。このうち支部活動のメインは何といっても月例山行である。

支部長就任後初の月例山行は4月30日の春山山行であった。三宅山行集会委員が担当し、仙台市近郊の戸神山で行われた。この山行は故佐々木会員追悼の山行でもあった。また、支部長として山行時の挨拶を始めてしたのもこの山行で思い出の山行でもあった。以降、公募型の登山教室、親子登山教室、遠征夏山登山(日本アルプス)を大きな事故もなく実施して来た。この間、他支部会員の遭難事故死を重視した本部の意向もあり、「宮城支部登山計画書に関する取扱い基準」を定め、安全登山及び遭難事故防止に資するために運用を開始した。また、2019年度には、千葉会員の企画で、チロル・ドロミテ地方をトレッキングしながらヨーロッパアルプス東部の山岳風景を堪能したのも思い出の一つとなった。

二つの大イベントも、実施させて頂いた。一つ目は、10月の「台湾遠征玉山登山」、11月の「記念祝賀会」、60周年記念誌発行の3事業を実施した2018年度の「宮城支部設立60周年記念事業」である。台湾遠征では、黄理事長、張玉龍顧問をはじめとする中華民国山岳協会の皆様には大変お世話になった。改めて感謝申し上げたい。二つ目は、特別委員会(千石委員長)を設置し、計7回の打合会を開き蔵王を会場に実施した、2019年度の「第35回東

北・北海道地区集会」である。「蔵王古道」を歩く交流山行は参加した各支部長からも好評を頂いた。在任中、東北・北海道地区集会には第33回が岩手の東野三山、第34回が山形の出羽三山での開催に参加したが、担当支部の嗜好が楽しくもあり嬉しくもあった。更に、全国支部懇談会は、第32回(新潟の弥彦山)、第33回(茨城の筑波山)、第34回(北海道の大雪山)、第35回(栃木の奥日光)に参加、各支部との懇親を深めるまたとない機会となった。また、2019年10月に秘湯「鶴の湯」での「秋田支部設立60周年記念祝賀会」、2018年6月の岩手・秋田支部と共催した「岩手・宮城内陸地震10周年栗駒山メモリアル合同登山」、山形支部との合同山行等も記憶に深く残る催しであった。宮城支部に所属していなければ経験できない貴重な体験でもあった。

役員会も思い出が尽きない。会議中に意に反すると大きな声を出してしまうことも多々、役員会の皆様には不快な思いをさせてしまった。これも宮城支部の為にと思ってのこと、お許しいただきたい。

懇親事業として、夏のビールパーティ、年末の晩餐会&オークション実施して来たが、寂しいことに年々参加者が減り続けており、今置かれている宮城支部の現状が垣間見られるような気がして寂しくもあり残念でならない。

中国の武漢市が発生源と言われる新型コロナウイルス感染は、ワクチン接種が始まったものの未だ終息の兆しは見えない。東京オリ・パラ開催も予断を許さない状況の様だ。新型コロナウイルス感染は宮城支部の活動にも影を落とし活動自粛を余儀なくされて来た。当分の間、新型コロナとの戦いは続くものと思われるが、以前のように自由闊達な山行が可能となる日が早く訪れること、更には、宮城支部の活動も元気を取り戻すことを期待し、次期執行部にバトンタッチしたいと思う。

4年間、会員、準会員、支部友会員そして関係者の皆様には大変お世話になりました。本当に有り難うございました。

【定例役員会報告】

☆令和3年1月役員会議事録

日時:1月22日(月)18:00～

場所:仙台市生涯センター 5F 会議室

新型コロナ感染拡大のため中止

☆令和3年2月役員会議事録

日時:3月18日(木)18:00～

場所:仙台市生涯センター 5F 会議室

出席者:富塚支部長、草野、富塚(真)、高橋柴崎、鳥山

計6名

《報告事項》

イ 総務・財務委員会からの報告

- ・支部連絡会議(1/30)概要について
- ・令和3年度支部事業計画・予算書について
- ・令和2年度理事会議事録(12.1.2 月度)について
- ・各支部山岳古道担当者の選任について
- ・中止した公益事業の報告について
- ・支部、委員会事業報告・会計報告の提出依頼について
- ・第10回登山教室指導者養成講習会につて

ロ 山行集会委員会からの報告

- ・12月初冬山行実施結果について
- ・2月厳冬期山行のお知らせについて

ハ 会報・編集出版委員会からの報告

- ・宮城山岳通信第22号の発行予定について
- ・宮城山岳第24号の刊行について

ニ メディア委員会からの報告

- ・ツイッター機能の付加(支部ホームページ)について

《審議事項》

①全国山岳古道調査について

- ・全国山岳古道調査用紙について
- 事務局から5候補を提示、了承される。
- ・山岳古道調査体制について

次年度に体制を整えることで了承される。

②次期執行部体制について

支部長の任期が満了するため、次期役員会までに執行部を選任することで了承された。

③会報の今後の編集方針について

現在発行している宮城山岳は、内容がニューズレター的な宮城山岳通信の焼き移し的な面がある事から、経費削減の点からも機関誌的な性格の宮城山岳だけの発行について提案も、当面、現状の発行を継続することになった。

④令和3年度事業計画(素案)について

前例を踏まえた計画とする事で承認された。

《その他》

特になし

以上の事項について承認または了承される。

(事務局報告)

☆令和3年3月役員会議事録

日時:3月17日(水)18:00～

場所:仙台市生涯センター 5F 会議室

出席者:富塚支部長、草野、横山、富塚(真)、千葉、千石、柴崎、鳥山

計8名

《報告事項》

イ 総務・財務委員会からの報告

- ・事業計画別表について
- ・支部連絡会議の日程について
- ・支部事業報告・会計報告について
- ・第10回登山教室指導者養成講習会の配信について
- ・令和2年度第11回(3月度)理事会議事録について
- ・除籍予定者について
- ・全国山岳古道会議(オンライン会議)について

ロ 山行集会委員会からの報告

- ・2月厳冬期山行実施結果について
- ・3月早春のお知らせについて

ハ 会報・編集出版委員会からの報告

- ・宮城山岳通信第23号の発行について

《審議事項》

①次期執行部体制について

新支部長、事務局長を選任、総会までに副支部長、会計担当を選任する事で了承された。なお、会計監事は留任。

②令和3年度総会資料について

事務局提出の資料について承認された。

- ③各種委員会委員長の選任について事務局(案)について承認された。
- ④宮城支部規約の一部改正について承認された。

《その他》

- ・「山」支部だより原稿依頼について
 - ・山形・宮城支部交流会の延期について
- 以上の事項について承認または了承される。
(事務局報告)

【宮城支部山行報告】

三方倉山(厳冬期)山行の報告
(共益事業)

報告者:佐藤昭次郎

1921年(令和3)2月28日、2.3日前から日中でも気温が上がらず、厳冬らしくなった。今日は朝から雲一つない絶好の登山日和。この時期の朝晩気温差は大きく仙台でも今朝-5℃、日中は10℃を越すという予報。

期待を胸に集合場所へ、今回は厳冬期登山という恒例行事、装備はピッケル、アイゼン、カンジキをはじめ相応の対応を要請し募集しました。今回この山行の為に揃えた方、借りた方など10名が集合しました。

催行にあたり支部長から挨拶を受け、その後担当の私より本日の行動スケジュールと、冬山の基本、斜面の上り下りと滑落時の対応など10分ほど時間を戴き厳冬期登山の話をしました。前述のとおり装備はあるものの、使用経験がない方が多いので、行けるところまでの了解を得て予定時間より少し遅れましたが、出発。



林道も新たな降雪も無く夏道部の雪面は締まってカンジキも全く必要無し、快適そのもの。

トレースを外れても潜る事はない。夏道のシロヤシオコースを途中まで進み、ここで休憩と不必要なカンジキをデポして、アイゼンを装着し出発、ここからが斜面がきつくなる、アイゼンのツアッケが効いて快い、斜面上の大きなブナの幹元を利用して数回休憩をとりながら、最も傾斜がきつい750m位の場所で後続が滑落、それに伴い後続が滑落、幸いにも10m程のところの樹木で停止した。その救出で下方に廻り安全な場所へ移動させていたところ、後尾の会員らも滑落。11時下山を決定。

なるべくブッシュが有る部分を慎重に下る、途中で右手の斜面をゆっくりとトラバースし寄ってくる単独者が、合流し話を聞くと、夏道のブナコースを登り山頂から夏道のシロヤシオコースを下りて間もなく滑落し、打撲したらしく歩行が辛いとの事、自力で下山したいとの事で、気に掛けながら下山しました。途中のデポ地点で昼食を摂り、単独者が到着を待って、下山しました。



集合場所の駐車場で、今回の「厳冬期山行」各自で反省をして今後それを活かして登山してもらいたい事を話し13時解散としました。その後14時過ぎ単独者が下山した事を確認後帰宅しました。

参加者 佐藤昭次郎 富塚和衛 富塚眞味子 草野洋一 横山哲 庄子美佐子 津久井宏 鳥田伊志 多田孝徳 佐藤富士子

【支部以外の関係行事参加報告】

令和元年度支部連絡会議参加報告

報告者 富塚和衛

令和3年1月30日(土)、本部主催の支部連絡会議がオンライン会議(ZOOM)として開催されこれに参加したので報告する。

冒頭、古野淳会長から新型コロナ下での工夫ある支部活動の推進及び日本山岳会設立120年記念事業への協力要請、特に全国山岳古道調査と本部、支部が所有する山岳関係資料のデジタル化について各支部と力を合わせて推進していく旨の挨拶があった。その後、永田弘太郎総務担当常務理事司会の元、会議が進められた。

会務報告として、①支部事業委員会の報告②財務会計について③記念事業委員会の報告④山岳古道調査について⑤公益法人運営委員会の報告(・パワハラ防止法・新聞記事の配信、配布について・理事の定年と任期について・復活会員制度について)⑥会員名簿について⑦改革事業委員会と広報委員会について⑧東京多摩支部の遭難事故について、本部の各担当理事等から説明資料を基に報告があった。その後、意見交換があった。

初めてのZOOM会議の為、不参加の支部もあった。

積雪時登山技術講習会

☆5月19日(水)

定例役員会(仙台シルバーセンター)

☆5月23日(日)

第10回親子登山教室

●2021年6月

☆6月中旬

宮城山岳第25号発行

☆6月20日(日)

露払い山行

☆6月22日(日)

定例役員会(仙台シルバーセンター)

(事務局担当)

【今後の行事予定】

2021年度第1四半期宮城支部行事予定

●2021年4月

☆4月中旬

宮城山岳通信第23号発行

☆4月10日(日)

支部連絡会議(zoom会議)

☆4月18日(日)

春山山行

☆4月26日(月)

令和3年度総会

●2021年5月

☆5月1日(土)~3日(月)

【編集後記】

会報・編集出版委員長として最後となる「宮城山岳通信第 23 号(1月、2月、3月期)」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く令和 2 年度の締めくくりとなる会報となるが、事業の自粛が余儀なくされる中での発行となり、紙面の方も充実した内容とはなっていませんが、休まずに極力タイムリーに発行して行く事も会報・編集出版委員会の与えられた務めだと考えておりますので事情をご理解いただき、今後とも宮城支部の関係者の皆さんにはご支援のほどをお願い申し上げます。

会報・編集出版委員長 富塚和衛

宮城山岳通信

発行 公益社団法人日本山岳会 宮城支部

発行日 2021年4月20日 発行人 冨塚和衛

会報・編集出版委員会 冨塚和衛 千石信夫 細川光一 三宅泰 鳥山文蔵

事務局 983-0821 仙台市宮城野区岩切字畑中 9-12